

**CASBEE-新築(簡易版)2008年版**  
 東舞鶴病院・介護老人保健施設エスハル東舞鶴

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2008年  
 ■評価ソフト: CASBEE-NCb\_2008(v.3.1)

スコアシート 実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>Q 建築物の環境品質</b>						<b>2.9</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.40</b>			<b>3.0</b>
<b>1 音環境</b>		<b>2.0</b>	0.15	<b>2.2</b>	1.00	<b>2.2</b>
1.1 騒音		<b>2.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.40	
1 1 暗騒音レベル		<b>2.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	1.00	
1.2 遮音		<b>1.6</b>	0.40	<b>2.2</b>	0.40	
1 1 開口部遮音性能		<b>1.0</b>	0.40	<b>1.0</b>	0.30	
2 2 界壁遮音性能		<b>2.0</b>	0.60	<b>3.0</b>	0.30	
3 3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		<b>2.0</b>	-	<b>2.0</b>	0.20	
4 4 界床遮音性能(重量衝撃源)		<b>2.0</b>	-	<b>3.0</b>	0.20	
1.3 吸音		<b>3.0</b>	0.20	<b>1.0</b>	0.20	
<b>2 温熱環境</b>		<b>2.6</b>	0.35	<b>2.6</b>	1.00	<b>2.6</b>
2.1 室温制御		<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.50	
1 1 室温設定		<b>3.0</b>	0.38	<b>3.0</b>	0.57	
2 2 室温変動・過熱抑制性		<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	-	
3 3 外皮性能		<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	0.43	
4 4 ゾーン別制御性		<b>3.0</b>	0.38	<b>3.0</b>	-	
5 5 屋外・屋中・地下		<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	-	
6 6 風向き・風速		<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	-	
7 7 時間外過熱に対する配慮		<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	-	
8 8 暑熱対策		<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	-	
2.2 湿度制御		<b>1.0</b>	0.20	<b>1.0</b>	0.20	
2.3 空調方式		<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.30	
<b>3 光・視環境</b>		<b>3.2</b>	0.25	<b>3.9</b>	1.00	<b>3.9</b>
3.1 屋光利用		<b>4.2</b>	0.30	<b>4.2</b>	0.30	
1 1 屋光率	屋光率1.68%	<b>5.0</b>	0.60	<b>5.0</b>	0.60	
2 2 方位別開口		<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	-	
3 3 屋光利用設備		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.40	
3.2 グレア対策		<b>3.0</b>	0.30	<b>5.0</b>	0.30	
2 2 屋光制御	バルコニー及びカーテンにて制御している。	<b>3.0</b>	1.00	<b>5.0</b>	1.00	
3.3 照度		<b>2.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	0.15	
1 1 照度		<b>2.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	1.00	
3.4 照明制御		<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	0.25	
<b>4 空気環境</b>		<b>3.6</b>	0.25	<b>3.1</b>	1.00	<b>3.1</b>
4.1 発生源対策		<b>4.0</b>	0.50	<b>4.0</b>	0.63	
1 1 化学汚染物質	建築建材はF☆☆☆☆を採用している。	<b>4.0</b>	1.00	<b>4.0</b>	1.00	
2 2 臭気		<b>2.0</b>	-	<b>2.0</b>	-	
4.2 換気		<b>2.0</b>	0.30	<b>1.6</b>	0.38	
1 1 換気量		<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.33	
2 2 自然換気性能		<b>2.0</b>	-	<b>1.0</b>	0.33	
3 3 取り入れ外気への配慮		<b>1.0</b>	0.50	<b>1.0</b>	0.33	
4.3 運用管理		<b>5.0</b>	0.20	<b>5.0</b>	-	
1 1 CO <sub>2</sub> の監視		<b>5.0</b>	-	<b>5.0</b>	-	
2 2 喫煙の制御	館内全面禁煙とします。	<b>5.0</b>	1.00	<b>5.0</b>	-	
<b>Q2 サービス性能</b>		-	0.30	-	-	<b>3.2</b>
<b>1 機能性</b>		<b>3.8</b>	0.40	<b>3.2</b>	1.00	<b>3.2</b>
1.1 機能性・使いやすさ		<b>3.0</b>	0.60	<b>3.0</b>	0.60	
1 1 広さ・収納性		<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	1.00	
2 2 高度情報通信設備対応		<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	-	
3 3 バリアフリー計画		<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	-	
1.2 心理性・快適性		<b>5.0</b>	0.40	<b>3.5</b>	0.40	
1 1 広さ感・景観	病室・療養室の天井高さ2.5m	<b>5.0</b>	-	<b>4.0</b>	0.50	
2 2 リフレッシュスペース		<b>5.0</b>	-	<b>3.0</b>	-	
3 3 内装計画	インテリアイメージベースの提案をし各機能を意識した内装計画をしている	<b>5.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	0.50	
1.3 維持管理		<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	-	
1 1 維持管理に配慮した設計		<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	-	
2 2 維持管理用機能の確保		<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.1</b>	0.31	-	-	<b>3.1</b>
2.1 耐震・免震		<b>3.0</b>	0.48	-	-	
1 1 耐震性		<b>3.0</b>	0.80	-	-	
2 2 免震・制振性能		<b>3.0</b>	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		<b>3.1</b>	0.33	-	-	
1 1 躯体材料の耐用年数		<b>3.0</b>	0.23	-	-	
2 2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		<b>2.0</b>	0.23	-	-	
3 3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	ビニル床シート、石膏ボード・下地+ビニルクロスを仕上に選定している。	<b>5.0</b>	0.09	-	-	
4 4 空調換気ダクトの更新必要間隔		<b>3.0</b>	0.08	-	-	
5 5 空調・給排水配管の更新必要間隔	主要な用途上位3種の2種類以上にCを使用。	<b>4.0</b>	0.15	-	-	
6 6 主要設備機器の更新必要間隔		<b>3.0</b>	0.23	-	-	

<b>2.4 信頼性</b>			<b>3.4</b>	-		-	
1	空調・換気設備		3.0	0.19		-	
2	給排水・衛生設備	節水型器具を採用し、配管系統を区分している。	4.0	0.20		-	
3	電気設備	非常用発電設備を備え、地下空間への設置を避けている。	4.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20		-	
<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.6</b>	0.29	<b>3.5</b>	1.00	3.5
<b>3.1 空間のゆとり</b>			<b>4.0</b>	0.31	<b>4.0</b>	0.50	
1	階高のゆとり	階高3.8m以上。	4.0	0.60	4.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.15	4.0	0.40	4.0	0.40	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			<b>4.0</b>	0.31	<b>3.0</b>	0.50	
<b>3.3 設備の更新性</b>		診察室の積載荷重を3900N/m <sup>2</sup> に設定。	<b>3.0</b>	0.38		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17		-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22		-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22		-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	0.30	-	-	2.4
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			1.0	0.30		-	1.0
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>			3.0	0.40		-	3.0
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			3.0	0.30		-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50		-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50		-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	3.5
<b>LR1 エネルギー</b>			-	0.40	-	-	3.9
<b>1 建物の熱負荷抑制</b>		PAL値/基準PAL値=292/340=85.88%	4.0	0.30		-	4.0
<b>2 自然エネルギー利用</b>			3.0	0.20		-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50		-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50		-	
<b>3 設備システムの高効率化</b>		ERR=77.1	5.0	0.30		-	5.0
<b>4 効率的運用</b>			3.0	0.20		-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50		-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	0.30	-	-	3.1
<b>1 水資源保護</b>			3.0	0.15		-	3.0
<b>1.1 節水</b>			3.0	0.40		-	
<b>1.2 雨水利用・雑排水再利用</b>			3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67		-	
2	雑排水再利用システム導入の有無		3.0	0.33		-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			3.4	0.63		-	3.4
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.07		-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24		-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20		-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	陶器質タイル:風除室床材、ビニル床材:一般居室床材	3.0	0.20		-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05		-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上材が分別可能で、内装材と設備を容易に取り外し可能。	5.0	0.24		-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			2.6	0.22		-	2.6
<b>3.1 有害物質を含まない材料の使用</b>			3.0	0.32		-	
<b>3.2 フロン・ハロンの回避</b>			2.5	0.68		-	
1	消火剤		-	-		-	
2	断熱材		2.0	0.50		-	
3	冷媒		3.0	0.50		-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	0.30	-	-	3.5
<b>1 地球温暖化への配慮</b>		建設時のLCCO <sub>2</sub> 排出量を36%に抑制	5.0	0.33		-	5.0
<b>2 地域環境への配慮</b>			2.5	0.33		-	2.5
<b>2.1 大気汚染防止</b>			3.0	0.25		-	
<b>2.2 温熱環境悪化の改善</b>			2.0	0.50		-	
<b>2.3 地域インフラへの負荷抑制</b>			3.3	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減		-	-		-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33		-	
3	交通負荷抑制	適切な駐車・駐輪スペースを確保し、敷地出入口の位置に配慮。	5.0	0.33		-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.33		-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>			3.0	0.33		-	3.0
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>			3.0	0.40		-	
1	騒音		3.0	1.00		-	
2	振動		-	-		-	
3	悪臭		-	-		-	
<b>3.2 風害、日照阻害の抑制</b>			3.0	0.40		-	
1	風害の抑制		3.0	0.70		-	
2	日照阻害の抑制		3.0	0.30		-	
<b>3.3 光害の抑制</b>			3.0	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70		-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	